

令和 5 年度の実施状況・課題と令和 6 年度の対応

1 学卒者向け職業訓練

新規学卒者を中心に概ね 30 歳以下の者を対象に、1 から 2 年の期間で基礎的技能及び知識を習得し、地域の産業人材を養成する職業訓練をテクノスクール 4 校で実施する。

精密機械加工、木造建築など、ものづくり分野の訓練コースを実施。

● 令和 5 年度の実施状況（現状・課題）

- 令和 5 年度入校者の入校率は前年に比べ低くなっており、これは、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことから、県外での就職や進学希望が高まったことが考えられる。
- 就職状況については、例年どおり、県内企業への就職率が高くなっている。
- 特別な配慮が必要な訓練生や、精神的な悩みを持つ訓練生が入校している現状を踏まえ、スクールカウンセラーとの連携や研修等による指導員の対応力の向上を図った。今後も引き続き訓練生一人一人に合った職業訓練を実施する必要がある。

● 令和 6 年度の対応【入校定員※175 人（前年度比▲ 5 人）】

- 高等学校や中学校への広報活動による新規学卒者の確保だけでなく、ハローワーク等への広報活動を強化し新規学卒者以外の訓練生を確保する。
- 特別な配慮が必要な訓練生等に組織的に対応するため「ケース会議」を実施し、個人情報を除いて全校で情報共有するとともにノウハウを蓄積することで、訓練生一人一人に合わせた指導の向上に努める。
- 新潟テクノスクール電気システム科の入校者数の減等により、定員に占める関連職種への就職率が低下していることから、定員を 5 名減として実施する。

※ 入校定員には前年度に開講し、当該年度に修了する訓練コースの定員は含まない。以下同じ。

(1) 令和 6 年 3 月修了コースの実施状況（令和 6 年 1 月末現在・人）

分野	期間	R 5 年度				
		入校定員	在籍者	内定者	うち 県外	内定率
ものづくり	2 年	125	81	80	2	98.8%
建築・建設系	2 年	15	14	14	0	100.0%
その他（電気系）	1年または2年	35	10	8	0	80.0%
合 計		175	105	102	2	97.1%

(2) 令和 6 年度の入校状況 (令和 6 年 2 月末現在・人)

入校月	募集定員	応募者数	入校者数	入校率
R4.4	175人	143人	131人	74.9%
R5.4	180人	92人	81人	45.0%
R6.4	175人	58人	56人	32.0%

R6.4 は入校見込み者数で追加募集中。

(3) 令和 6 年度計画

- ・ 入校定員 175 人 (前年度比▲ 5 人)
- ・ 電気システム科の定員を 5 人減。(定員 20 人→15 人)
- ・ 実施コース及び入校選考状況は下表のとおり。

(令和 6 年 2 月末現在・人)

訓練区分	校	訓練科	入校定員	令和 6 年度生								令和 5 年度生	
				応募者数	前年度比	合格者数	前年度比	入校予定者数	未充足者数	定員充足率	オープンキャンパス参加者	応募者数	入校者数
学卒者訓練	新潟	精密機械加工科	20	5	△ 1	5	△ 1	5	15	25.0%	12	6	6
		電気システム科	15	7	△ 10	7	△ 6	7	8	46.7%	25	17	13
	上越	自動車整備科	25	14	△ 5	13	△ 4	13	12	52.0%	22	19	17
		マイクロコト科	20	4	△ 10	3	△ 9	3	17	15.0%	11	14	12
	三条	マイクロコト科	20	7	△ 3	7	△ 1	7	13	35.0%	10	10	8
		工業デザイン科	20	6	1	6	1	6	14	30.0%	13	5	5
		生産システム科	20	3	△ 5	3	△ 4	3	17	15.0%	3	8	7
	魚沼	電気施設科	15	7	2	7	2	7	8	46.7%	6	5	5
		建築施工科	20	5	△ 3	5	△ 3	5	15	25.0%	5	8	8
		合計		175	58	△ 34	56	△ 25	56	119	32.0%	107	92

訓練区分	分野	入校定員	令和 6 年度生								令和 5 年度生	
			応募者数	前年度比	合格者数	前年度比	入校予定者数	未充足者数	定員充足率	オープンキャンパス参加者	応募者数	入校者数
学卒者訓練	ものづくり系	125	39	△ 23	37	△ 18	37	88	29.6%	71	62	55
	建築・建設系	20	5	△ 3	5	△ 3	5	15	25.0%	5	8	8
	その他(電気系)	30	14	△ 8	14	△ 4	14	16	46.7%	31	22	18
			175	58	△ 34	56	△ 25	56	119	32.0%	107	92

2 離職者向け職業訓練【一般離職者向け】

離職者を対象に、雇用のミスマッチの低減や個々の能力を高め、円滑な再就職を支援する職業訓練を、県立テクノスクール施設内及び民間教育機関への委託により実施する。

(1) 施設内訓練

県立テクノスクールの施設内において、地域産業の人材ニーズを踏まえ、主に、ものづくり分野の職業訓練を実施。

- **令和5年度の実施状況（現状・課題）**
 - ・ ものづくり分野の定員充足率が低く、受講者の確保が課題となっている。

- **令和6年度の対応【入校定員 185人（前年度比▲20人）】**
 - ・ 入校定員の見直しを行った。
 - ・ 個別相談を含む説明会をテクノスクールで開催し、実際に訓練の様子を見学してもらうことに加え、訓練修了後の就職状況など訓練を受講することによるメリットを説明することやSNSを活用した広報を展開し、受講者の確保を図る。

ア 令和5年度実施状況

（令和6年1月末現在・人）

分野	R5 入校定員	入校	修了 (見込)	修了		就職率	R6 入校定員	前年比
				うち修了3か月 経過コース	3か月後 就職者			
事務系	15	13	(11)	—	—	—	15	0
ものづくり系	135	60	45	23	20	87.0%	115	▲20
建築・建設系	15	13	(13)	—	—	—	15	0
サービス系（ビル設備）	30	31	15	15	11	73.3%	30	0
その他（個人開業）	10	8	8	—	—	—	10	0
合 計	205	125	92	38	31	81.6%	185	▲20

イ 令和6年度計画

入校定員 185人（前年度比▲20人）

- ・ 新潟テクノスクール溶接科定員 10人減。（R5・40人 → R6・30人）
- ・ 三条テクノスクール溶接科定員 10人減。（R5・50人 → R6・40人）

(2) 委託訓練

民間教育訓練機関を活用し、事務、デジタル、介護分野などの雇用失業情勢に応じて機動的・効果的に職業訓練の機会を提供することにより再就職を支援。

- **令和 5 年度の実施状況（現状・課題）**
 - ・ 介護系の訓練コースで、応募者が集まらず中止となったコースが複数あった。
 - ・ デジタル化の進展に対応するため、デジタル系訓練コースの拡充が求められるが、委託先の確保が難しい。
 - ・ 建築・建設系コースについては、テクノスクール 4 校において各校入校定員 10 人として計画したが、委託先が確保できず受講者募集に至っていない。
- **令和 6 年度の対応【入校定員 2,410 人（前年度比▲170 人）】**
 - ・ 受講者確保に向け、ハローワークにおける職業訓練説明会やテクノスクールにおいても定期的に訓練説明会を開催し、職業訓練の周知を図る。
 - ・ デジタル系訓練コースについては、関係機関や県の他の D X の推進に係る事業と連携を図りながら、企業における求人ニーズに応じた訓練コースの設定を進めていくとともに、委託先の確保に取り組む。
 - ・ デジタル系訓練コースや建築・建設系コース等における委託先の開拓を強化するため、委託先開拓員を全県で 4 名増員する。

ア 令和 5 年度実施状況

(令和 6 年 1 月末現在)

離職者訓練	入校定員	募集定員	入校者数	うち女性		入校率	修了者数	就職者数	就職率
				人数	割合				
事務系	1,340人	1,179人	781人	636	(81.4%)	66.2%	515人	234人	45.4%
介護系	581人	287人	110人	65	(59.1%)	38.3%	72人	33人	45.8%
デジタル系	390人	252人	133人	81	(60.9%)	52.8%	40人	24人	60.0%
建築・建設系	43人	3人	0人	0	(0.0%)	0.0%	0人	0人	0.0%
サービス系	42人	42人	27人	23	(85.2%)	64.3%	0人	0人	0.0%
その他	184人	0人	0人	0	(0.0%)	0.0%	0人	0人	0.0%
合計	2,580人	1,763人	1,051人	805人	(76.6%)	59.6%	627人	291人	46.4%

イ 令和 6 年度計画

- ・ 入校定員 2,410 人（前年度比▲170 人）
- ・ 定員については、物価の高騰などが雇用に与える影響の十分注意する必要があるものの、令和 4 年度及び 5 年度の受講率や e ラーニングの拡充等を考慮して減とし、令和 4 年度と同規模とする。
- ・ 幅広い業種で必要とされるデジタル系訓練コースの定員について、前年度から 108 人増の 678 人として、引き続きデジタル系訓練コースを強化する。

3 離職者向け職業訓練【若年求職者向け】

県立テクノスクール施設内及び民間教育機関への委託により、就職氷河期世代を含む若年求職者（概ね 55 歳未満の離職者、フリーター、不安定労働者等）を対象に安定雇用を図るため、企業実習を組み合わせた訓練（日本版デュアルシステム訓練（以下 D S 訓練））を通して、実践的な技能を身につける職業訓練等を実施する。

● 令和 5 年度の実施状況（現状・課題）

- ・ 訓練受講ニーズが高い I T 系訓練コースを中心に訓練を設定したが、受託者が見つからずに不応札となったコースも発生した。
- ・ 介護系訓練コースは、新型コロナウイルスの影響による経験から、引き続き実習を敬遠する企業が見受けられ、実習先の開拓に苦慮した。

● 令和 6 年度の対応【入校定員 350 人（前年度同数）】

- ・ 企業実習の受入先を開拓するため、あらゆる機会を捉えて D S 訓練の広報を行っていくとともに、オンラインでの実習を取り入れる等、企業が実習を実施しやすい環境を整備。
- ・ 介護系訓練コースについては、委託先開拓員を増員したことから、関わりのある企業、団体、福祉施設等への開拓を強化する。

(1) 令和 5 年度実施状況

（令和 6 年 1 月末現在）

開講年度	区分	入校定員	募集定員	入校者数	入校率	修了者数	就職者数	就職率	
								うち常用	うち常用
R5	施設内	50人	35人	13人	37.1%	5人	-	-	-
	委託訓練	300人	180人	132人	73.3%	81人	33人	24人	40.7%
	合計	350人	215人	145人	67.4%	86人	33人	24人	38.4%
R4	施設内 (2年間訓練の2年生)	20人	20人	15人	75.0%	受講中	-	-	-

(2) 令和 6 年度計画

- ・ 入校定員 350 人（前年度同数）
- ・ 若年求職者のニーズが高い W e b 系のコースや、情報化社会に対応する人材育成を育成するため、プログラマー養成科などのデジタル系コースを設定する。

区分	主なコース	入校定員
施設内	自動車整備科、電気設備コース	50人
委託訓練	W e b クリエーター科、プログラマー養成科、介護員養成科など	300人
合計		350人

4 障害者向け職業訓練

県立新潟テクノスクールの施設内及び民間教育機関への委託等により、障害者の特性に応じた職業訓練を実施するとともに、障害のある訓練生一人一人に合わせた支援を強化し、障害者の雇用を促進する。

● 令和5年度の実施状況（現状・課題）

- 企業側の訓練ニーズは高いが、訓練受講希望者が少なく訓練が成立しなかったコースが見受けられた。
- 複数名が同時に受講する「集合訓練」では、訓練生に合わせた個別の対応が必要であり、就職に苦慮している。

● 令和6年度の対応【入校定員 180人（前年度同数）】

- 個別に事業所現場で行う「個別訓練」は就職率が高いことから（76.9% R4年度実績）、採用意欲の高い企業や受講者のニーズに即した企業を中心に開拓し、開講コース数を増加させる。
- 訓練開始前における訓練方針の設定から訓練修了後の就職支援まで、専門的・総合的な支援を行うため、障害者の職業能力開発や職業的自立に関する支援等の経験がある「障害者職業訓練コーチ（1名）」を前年度に引き続き配置する。
- ハローワークや障害者就業・生活支援センター等から、一般就労を目指す障害者の企業や職種のニーズを収集し、委託先の開拓及び受講希望者の確保につなげる。
- 国の事業「精神障害者職業訓練コーディネート事業」を活用して受講者と企業のマッチングを推進し、個別訓練の拡充を図る。
- 在職する障害者の職業能力の向上を図るため、企業ニーズに合った在職者訓練の実施に向けた取組を強化する。

(1) 令和5年度実施状況

（令和6年1月末現在・人）

区分	訓練形態	訓練名称	対象者	入校定員	募集定員	応募者数	入校者数	中退者数	修了者数	就職者数	就職率
テクノ	集合訓練	総合実務科	求職障害者	20	20	6	6	1	-	-	-
委託	集合訓練	デュアル訓練	求職障害者	60	-	-	-	-	-	-	-
		知識・技能習得訓練	求職障害者		32	14	11	1	9	0	0.0%
			特別支援学校在校生		20	-	-	-	-	-	-
	個別訓練	実践能力習得訓練	特別支援学校在校生	20	-	-	-	-	-	-	-
	在宅訓練	eラーニング	求職障害者	75	30	30	30	2	22	16	72.7%
			求職障害者	5	2	2	2	0	1	0	0.0%
合計				180	84	52	49	4	32	16	50.0%

(2) 令和6年度計画

- 入校定員 180人（内訳も含め前年度同数）

5 在職者向け職業訓練

在職者を対象に、職業に必要な知識・技能の追加取得や最新技術の習得など地域の産業界が必要とする労働者の幅広い職業能力の開発と向上を図る訓練を、テクノスクールが計画し広く受講者を募集する「レディメイドコース」の他、企業の要望に応じて従業員のために個別に設定する「オーダーメイドコース」により実施する。

受講者のスキルレベルに応じて、段階的かつ体系的にレベルアップできるようコース設定を行う。

● 令和5年度の実施状況（現状・課題）

- 企業の要望や受講者のライフスタイルや希望に対応したリスキリングコース（集合コース、オンライン及びe-ラーニング）を実施したが、初年度事業ということもあり、事業を軌道に乗せるまでに時間を要した。

● 令和6年度の対応【入校定員 2,440人（前年度同数）】

- リスキリングコースについては、初年度の経験を活かした円滑な事業運営を実施するとともに、企業等への広報を強化し、受講者を確保する。
- 国の事業「地域活性化雇用創造プロジェクト」を活用し、デジタル化に対応するために必要なIT技術に関連するコースを設定する。
- 新入社員向けに、基礎的な知識・技能を習得するコースや、段階的に難易度を上げていくコースを設定する。
- 在職者が、資格取得など自身のスキルアップの目標から複数のコースを選択できるよう、体系的にコースを設定する。
- 受講することによる効果（現場業務での活用事例など）がイメージしやすいコース名や専門用語を用いない広報を行うことで、受講率の確保を図る。

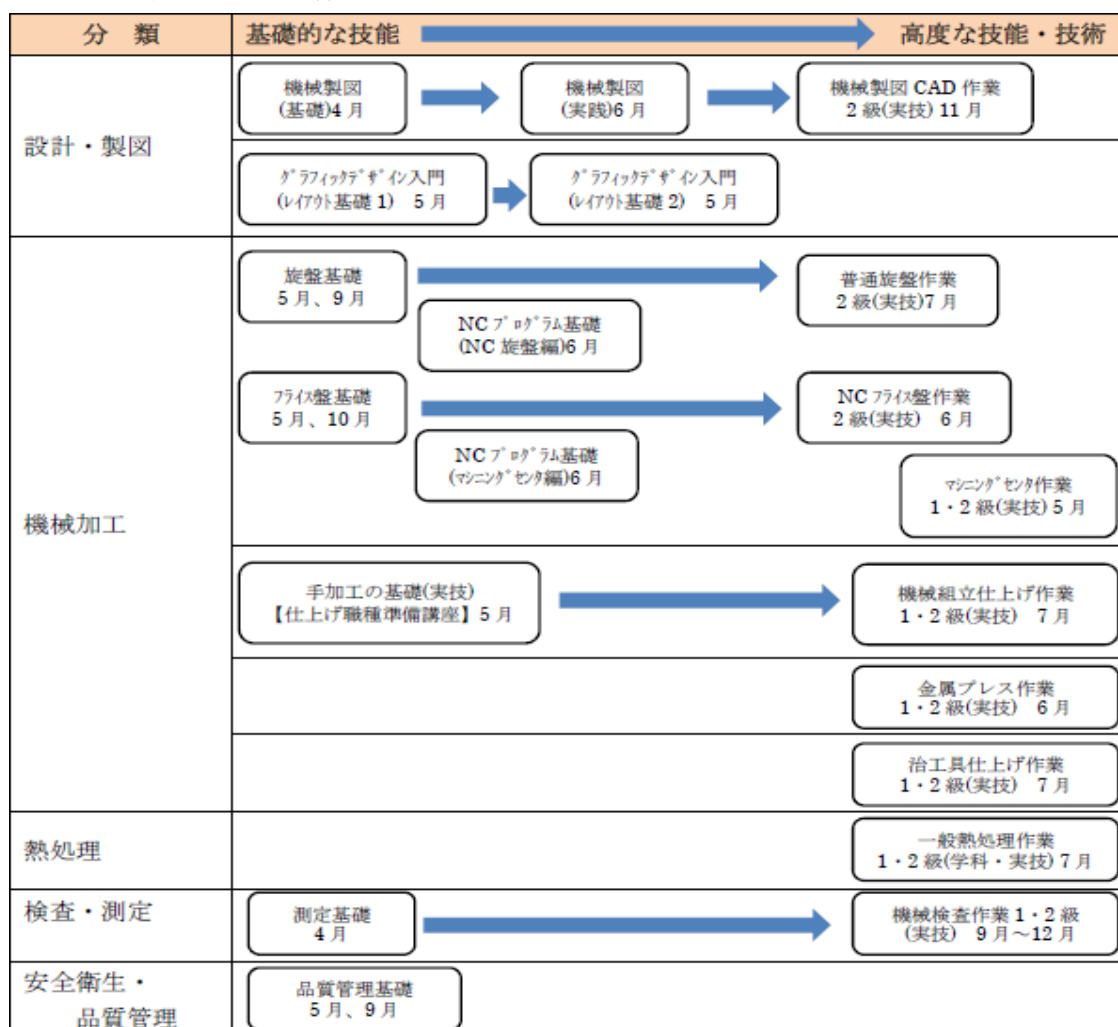
(1) 令和5年度実施状況

（令和6年1月末現在・人）

訓練内容	入校定員	受講者数		受講者数 合計
		レディメイド*	オーダーメイド*	
合 計	2,150	1,056	89	1,145
ものづくり系	2,440	264	34	298
情報系		206	0	206
電気系		188	0	188
自動車系		187	17	204
建築系		55	2	57
建設・配管系		39	0	39
溶接系		68	18	86
事務系		0	0	0
介護系		0	0	0
その他		49	18	67

○ 段階的・体系的なコース設定

＜機械系分野の段階的・体系的コース展開＞



(2) 令和6年度計画

- ・ 入校定員 2,440人 (前年度同数)
- ・ デジタル系訓練コース 790人 (前年度同数)

(人)

校	R 5				R 6						
	通常訓練	ITスキルアップコース	地プロ	通常訓練	ITスキルアップコース	地プロ			集合 (指導員が実施)		
						eラーニング	委託				
オンライン	集合										
新潟	775	640	135	760	640			30	30	60	
上越	470	350	120	440	350			15	30	45	
三条	600	480	120	585	480			30	30	45	
魚沼	255	180	75	255	180			15	30	30	
共通	340		180	400	180	220					
合計	2,440	1,650	610	2,440	1,650	180	220	90	120	180	

6 技能振興

県民に技能の重要性や必要性について理解を深めてもらうことが重要であることから、普及啓発活動や技能者の社会的評価・技能水準の向上を図るため、技能振興施策を実施する。

- **令和5年度の実施状況（現状・課題）**
 - ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響による入国制限が撤廃され、外国人受検者数が増加。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによるイベント等の普及啓発活動の再開。
- **令和6年度の対応**
 - ・ 技能検定の円滑な実施
 - ・ 技能啓発活動（職業能力開発関係表彰、啓発イベント開催等）の実施

(1) 技能検定

技能検定は、職業能力開発促進法第44条の規定に基づき、実技試験及び学科試験を厚生労働大臣が実施する。その際の実施は法第46条により、厚生労働大臣、県知事、中央職業能力開発協会及び都道府県職業能力開発協会の間で分担している。

毎年度の技能検定実施計画は厚生労働大臣が定め、中央協会が作成した試験問題、試験実施要領等を用いて県知事及び県協会が分担し、実施している。

ア 令和5年度技能検定実施実績

区 分		令和5 4-9月	令和4 通年	令和4 4-9月	4-9月 同期比
一般向け	受検者数	1,383	3,098	1,434	96.4%
	合格者数	772	1,648	751	102.8%
外国人向け	受検者数	818	1,365	554	147.7%
	合格者数	500	845	217	230.4%
合計	受検者数	2,201	4,463	1,988	110.7%
	合格者数	1,272	2,493	968	131.4%

※令和5年後期は数値集計中につき記載しない。

イ 令和6年度の計画

○ 前期試験

等級	作業数 (昨年度比)
特級	-
1級・2級	38職種65作業 (-1職種-3作業)
3級	13職種15作業
単一等級	1職種2作業

○ 外国人向け検定

等級	作業数
基礎級	47職種65作業 (+2作業)
随時3級	47職種65作業 (+2作業)
随時2級	37職種46作業 (+1職種+2作業)

(2) 技能振興に関する取組

ア 令和 5 年度実績

○ 新潟県職業能力開発促進大会

職業能力の開発・向上の促進及び魅力ある技能社会の形成を目指し、県民一般の理解を高めるため毎年開催している。大会では、卓越した技能者の表彰（知事表彰）、優良事業所、団体及び功労者の表彰を行っている。

- ・ 開催日：令和 5 年 12 月 1 日（金）新潟市民プラザ
- ・ 知事表彰、新潟県職業能力開発協会表彰を実施

<知事表彰の内容>

- ・ 卓越した技能者の表彰（「にいがたの名工」） 3 名
- ・ 認定職業訓練・技能検定関係功労者表彰 技能検定功労者 5 名

○ 各種競技大会への参加

- ・ 第 18 回若年者ものづくり競技大会（令和 5 年 8 月 1 日（火）～ 2 日（水））
新潟県参加選手：6 職種 10 人（成績：3 職種 5 人入賞）
- ・ 第 61 回技能五輪全国大会（令和 5 年 11 月 17 日（金）～ 21 日（火））
新潟県参加選手：7 職種 23 人（成績：5 職種 6 人入賞）
- ・ 第 43 回全国障害者技能競技大会（令和 5 年 11 月 17 日（金）～ 19 日（日））
新潟県参加選手：4 種目 4 人（成績：入賞者なし）
- ・ 第 32 回技能グランプリ（令和 6 年 2 月 23 日（金）～ 26 日（月））
新潟県参加選手：6 種目 8 人（成績：4 職種 5 人入賞）

イ 令和 6 年度計画

- ・ 新潟県職業能力開発促進大会の実施
- ・ 各種競技大会への参加に向けての支援